



實效と實現に向ふ現實主義

高木早苗氏の指導者論が

高木早苗氏の指導者論は、その内容からいへば、教育界に於ける指導者の責任と使命を論じたものである。...

非常生産の勢

非常生産の勢は、戦時体制の進展と共に益々顕著さを増している。...

社説 指導者の責任

指導者の責任 指導者は、その地位に相応する責任を負うべきである。...

米英の魔手推く

米英の魔手推く 米英の両国は、戦時体制の進展と共に益々顕著さを増している。...

材料を効率化

材料を効率化 戦時体制の進展と共に、材料の効率化は重要な課題となっている。...

斬り創意の凱歌

斬り創意の凱歌 戦時体制の進展と共に、斬り創意の凱歌は重要な課題となっている。...

戦給補印

戦給補印 戦時体制の進展と共に、戦給補印は重要な課題となっている。...

體育的轉換成る

體育的轉換成る 戦時体制の進展と共に、體育的轉換成るは重要な課題となっている。...

岩文庫版 明治天皇御集

有子入塾の理論

新刊 石油新論

乾元社 建築学者伊東忠太

先生厚性 日本精神と日学

店書雲八 久松義典

刊書堂公藏 野武天皇と正倉院

東洋史文獻目録

刊新社評論本日

航空機増産の方途

人文 學界の回顧と展望

福澤 謙一

人文科學の回顧と展望を論ずることは、今日我々の學問界に於て最も重要な問題である。人文科學は、人類の生活と文化の発展を研究する學問であり、その発展は人類の進歩と密接な関係にある。過去十年間の人文科學の発展を振り返ると、その進歩は著しいものである。特に、人類学、社会学、心理学、言語学などの分野で、新しい理論と方法が開発され、人類の生活と文化の理解が深められた。また、国際的な交流と協力が促進され、異なる文化と民族の相互理解が促進された。しかし、同時に、人文科學は、現代社会の急激な変化と技術的進歩の波にさらされ、その重要性と価値が軽視され、研究資金の不足や人材の不足に悩んでいる。未来の人文科學の発展を展望すると、より多岐にわたる分野での研究の促進、国際的な協力の強化、そして、人類の生活と文化の発展に貢献する研究の推進が求められる。人文科學は、人類の未来を切り拓く鍵となる学問であり、我々がその発展を促す責任を負っている。

経済論や一活潑

田中 幸次

経済論の発展と活潑な研究の促進を論ずる。経済學は、人類の生活と社会の発展に不可欠な学問であり、その研究は常に進歩を遂げている。過去十年間の経済學の発展を振り返ると、その進歩は著しいものである。特に、市場経済の発展、国際貿易の促進、そして、技術的進歩の波にさらされ、その重要性と価値が軽視され、研究資金の不足や人材の不足に悩んでいる。未来の経済學の発展を展望すると、より多岐にわたる分野での研究の促進、国際的な協力の強化、そして、人類の生活と文化の発展に貢献する研究の推進が求められる。経済學は、人類の未来を切り拓く鍵となる学問であり、我々がその発展を促す責任を負っている。

文化

山田 幸次

文化の発展と抽出に成功を論ずる。文化は、人類の生活と社会の発展に不可欠な学問であり、その研究は常に進歩を遂げている。過去十年間の文化の発展を振り返ると、その進歩は著しいものである。特に、人類学、社会学、心理学、言語学などの分野で、新しい理論と方法が開発され、人類の生活と文化の理解が深められた。また、国際的な交流と協力が促進され、異なる文化と民族の相互理解が促進された。しかし、同時に、文化は、現代社会の急激な変化と技術的進歩の波にさらされ、その重要性と価値が軽視され、研究資金の不足や人材の不足に悩んでいる。未来の文化の発展を展望すると、より多岐にわたる分野での研究の促進、国際的な協力の強化、そして、人類の生活と文化の発展に貢献する研究の推進が求められる。文化は、人類の未来を切り拓く鍵となる学問であり、我々がその発展を促す責任を負っている。

道法精神の課題

山田 幸次

道法精神の課題を論ずる。道法精神は、人類の生活と社会の発展に不可欠な学問であり、その研究は常に進歩を遂げている。過去十年間の道法精神の発展を振り返ると、その進歩は著しいものである。特に、人類学、社会学、心理学、言語学などの分野で、新しい理論と方法が開発され、人類の生活と文化の理解が深められた。また、国際的な交流と協力が促進され、異なる文化と民族の相互理解が促進された。しかし、同時に、道法精神は、現代社会の急激な変化と技術的進歩の波にさらされ、その重要性と価値が軽視され、研究資金の不足や人材の不足に悩んでいる。未来の道法精神の発展を展望すると、より多岐にわたる分野での研究の促進、国際的な協力の強化、そして、人類の生活と文化の発展に貢献する研究の推進が求められる。道法精神は、人類の未来を切り拓く鍵となる学問であり、我々がその発展を促す責任を負っている。

学世

山田 幸次

学世の発展と抽出に成功を論ずる。学世は、人類の生活と社会の発展に不可欠な学問であり、その研究は常に進歩を遂げている。過去十年間の学世の発展を振り返ると、その進歩は著しいものである。特に、人類学、社会学、心理学、言語学などの分野で、新しい理論と方法が開発され、人類の生活と文化の理解が深められた。また、国際的な交流と協力が促進され、異なる文化と民族の相互理解が促進された。しかし、同時に、学世は、現代社会の急激な変化と技術的進歩の波にさらされ、その重要性と価値が軽視され、研究資金の不足や人材の不足に悩んでいる。未来の学世の発展を展望すると、より多岐にわたる分野での研究の促進、国際的な協力の強化、そして、人類の生活と文化の発展に貢献する研究の推進が求められる。学世は、人類の未来を切り拓く鍵となる学問であり、我々がその発展を促す責任を負っている。

理工学

山田 幸次

理工学の発展と抽出に成功を論ずる。理工学は、人類の生活と社会の発展に不可欠な学問であり、その研究は常に進歩を遂げている。過去十年間の理工学の発展を振り返ると、その進歩は著しいものである。特に、人類学、社会学、心理学、言語学などの分野で、新しい理論と方法が開発され、人類の生活と文化の理解が深められた。また、国際的な交流と協力が促進され、異なる文化と民族の相互理解が促進された。しかし、同時に、理工学は、現代社会の急激な変化と技術的進歩の波にさらされ、その重要性と価値が軽視され、研究資金の不足や人材の不足に悩んでいる。未来の理工学の発展を展望すると、より多岐にわたる分野での研究の促進、国際的な協力の強化、そして、人類の生活と文化の発展に貢献する研究の推進が求められる。理工学は、人類の未来を切り拓く鍵となる学問であり、我々がその発展を促す責任を負っている。

研究設計者の十二

木上 重雄

研究設計者の十二の原則を論ずる。研究設計は、人類の生活と社会の発展に不可欠な学問であり、その研究は常に進歩を遂げている。過去十年間の研究設計の発展を振り返ると、その進歩は著しいものである。特に、人類学、社会学、心理学、言語学などの分野で、新しい理論と方法が開発され、人類の生活と文化の理解が深められた。また、国際的な交流と協力が促進され、異なる文化と民族の相互理解が促進された。しかし、同時に、研究設計は、現代社会の急激な変化と技術的進歩の波にさらされ、その重要性と価値が軽視され、研究資金の不足や人材の不足に悩んでいる。未来の研究設計の発展を展望すると、より多岐にわたる分野での研究の促進、国際的な協力の強化、そして、人類の生活と文化の発展に貢献する研究の推進が求められる。研究設計は、人類の未来を切り拓く鍵となる学問であり、我々がその発展を促す責任を負っている。

應用純化學の融合

山田 幸次

應用純化學の融合を論ずる。應用純化學は、人類の生活と社会の発展に不可欠な学問であり、その研究は常に進歩を遂げている。過去十年間の應用純化學の発展を振り返ると、その進歩は著しいものである。特に、人類学、社会学、心理学、言語学などの分野で、新しい理論と方法が開発され、人類の生活と文化の理解が深められた。また、国際的な交流と協力が促進され、異なる文化と民族の相互理解が促進された。しかし、同時に、應用純化學は、現代社会の急激な変化と技術的進歩の波にさらされ、その重要性と価値が軽視され、研究資金の不足や人材の不足に悩んでいる。未来の應用純化學の発展を展望すると、より多岐にわたる分野での研究の促進、国際的な協力の強化、そして、人類の生活と文化の発展に貢献する研究の推進が求められる。應用純化學は、人類の未来を切り拓く鍵となる学問であり、我々がその発展を促す責任を負っている。

<p>東 世界美術圖譜</p> <p>日本古典新攷</p> <p>久坂玄瑞</p> <p>アジヤ英傑傳</p> <p>福澤謙一</p> <p>日 勞働年論</p> <p>文藝學の史的構造</p> <p>海峽年記</p> <p>關東支那</p> <p>戰力増強の諸問題</p> <p>近代支那の政治</p> <p>高 綱の道</p> <p>院 材料力學</p> <p>國民社</p> <p>アルミニウム合金</p> <p>旋盤實習指導書</p> <p>土木工</p> <p>房書院</p> <p>大坂集</p> <p>日 本 臣 道</p>	<p>896</p>
---	------------

